

■目次

- ・第 26 回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・学会表彰委員会報告
- ・企画研究委員会報告

- ・選挙管理委員会からのお知らせ
- ・支部活動報告
(北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部)
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報

第 26 回大会開催に向けて

今大会のテーマは「社会と共に学び、成長する：地域×グローバル×イノベーション」です。前大会の「共創による新たなインターンシップの展望」での議論をふまえ、これからの新しいインターンシップを考えるうえで、あらためて学校・企業・地域が共に歩む意義を再確認したいと考えています。さらに、今後の社会変化を見据え、グローバルな視点や新たな産業・働き方といったイノベーションの要素も取り入れながら、これからのインターンシップや職業統合型学習 (Work-Integrated Learning) について、議論を深めていきたいと思ひます。

本大会では、教職員、地域、産業界の関係者が一堂に会し、インターンシップを通じて共に学び、新たな視点を発見し、成長する機会を創出したいと考えています。

基調講演では、現在北海道内でもっとも成長している地域での取り組み例として、株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメントの方を講師としてお迎えし「社会と共に学び、成長する」という視点から企業側の事例をご紹介します。エスコンフィールドを中心とした街づくり・企業活動・人の学びや成長について、具体的な取り組みを考えるきっかけとしたいと考えています。またシンポジウムでは、「地域×グローバル×イノベーション」をキーワードに、北海道内各地 (石狩・十勝・後志地区) でご活躍されている3名の方々の取り組みをご紹介します。地域、グローバル、イノベーションという視点で日頃の実践事例をもとに、社会全体における学びと成長について、参加者全員で考える機会としたいと考えています。

本大会は北海道支部が担当し、支部役員 11 名により運営いたします。また、会場は北海道新聞社の協力のもと 2024 年 11 月に完成した本社ビル内「DO-BOX EAST」にて開催いたします。JR 札幌駅や地下鉄大通駅からのアクセスも良好ですので、ぜひ楽しみにお越し

ください。会員の皆さまと共に学び、成長する 2 日間となるよう、実行委員会一同、準備を進めてまいります。どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。それでは、北の大地・札幌にて、皆さまにお目にかかれることを心より楽しみにしております。



会場となる北海道新聞社ビル DO-BOX EAST

<第 26 回大会概要>

1. 大会日程・開催形式

■開催日: 2025 年 9 月 13 日 (土)・14 日 (日)

■会場: DO-BOX EAST (札幌市中央区大通東 4 丁目 1 番地 北海道新聞社ビル 1 階/地下鉄東西線「バスセンター前駅」7 番出口直結)

■開催形式: 2 日間ともに対面形式

■主なスケジュール (予定)

<1 日目>: 9 月 13 日 (土) 12:00~18:20

・開会式

・基調講演: 株式会社 ファイターズスポーツ&エンターテインメント 管理統括本部統括部長兼総務人事部長 柳下堅志氏

・シンポジウム: テーマ「社会と共に学び、成長するイン

ターンシップを考える：地域×グローバル×イノベーションの視点から」

シンポジスト：

・株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメント
管理統括本部管理統括部総務人事部人事企画グループディレクター 古川拓実氏

・北海道後志総合振興局地域創生部長 金子直広氏

・川田工業株式会社 取締役専務執行役員 川田岳論氏

- ・高良記念研究助成報告：3名の報告を予定
- ・高良記念表彰及び榎本記念賞表彰
- ・会員年次総会
- ・懇親会（18:30～20:00）会場：DO-BOX EAST 内「加藤商店」

<2日目>：9月14日（日）8:30～12:35

- ・自由研究発表
- ・閉会式

なお、スケジュールは変更になる場合があります。最新情報は今後の配信情報でご確認ください。

2. 研究発表申込

■研究発表申込期間：2025年5月12日（月）～6月16日（月）まで

・研究発表は大会2日目（2025年9月14日（日））に
対面形式で行うものとします。万が一、申込者数が発表
枠数より多くなった場合は、実行委員会で調整させてい
ただくことがあります。

■要旨原稿提出期限：2025年7月14日（月）（期
日厳守）

■研究発表申込について

・発表申込フォーム（Google フォーム）に必要事項を記
入の上、お申し込みください。

▼研究発表申込サイト（Google フォーム）

<https://forms.gle/rpxy5koBLsrVsUzW9>

・別途「研究発表の申込について」を必ずご確認ください
いた上でお申し込みください。こちらは「要旨集のフォーム」
と合わせて第26回大会ページ（日本インターンシップ
学会 web サイト内）に掲載しております。

3. 大会参加・懇親会参加申込

■大会参加申込受付期間

（早割）2025年5月12日（火）～7月31日（木）

（一般）2025年8月1日（金）～9月12日（金）

■大会参加・懇親会申込方法

大会参加申込サイト、懇親会申込サイト（Peatix）から
それぞれ申込と支払手続を行ってください。

（大会参加申込サイト）

<https://peatix.com/event/4348710>

（懇親会申込サイト）

<https://peatix.com/event/4400191>

■大会参加費

	早割 (7月31日まで)	一般 (8月1日から)
個人会員・ 法人会員	4,000 円	5,000 円
学生会員	3,000 円	4,000 円
非会員	5,000 円	6,000 円
要旨集録のみ	1,500 円	
懇親会	5,000 円	

（第26回大会実行委員長 高橋秀幸・
北海道武蔵女子短期大学）

理事会報告

2024年度 第3回理事会

（2024年12月23日 *Web会議）

入退会の審査に加え、第25回大会の決算報告、
第26回大会の開催計画、2025-26年度の新理事
及び新会長選出スケジュールについて協議を行いま
した。さらに、前回理事会の議事録の確認、各委員
会・各支部・事務局からの報告がなされました。協
議の概要は次のとおりです。

（1）入退会の審査

・岩井事務局次長より、資料に基づき説明があり、
4件（個人会員）の入会、3件（個人会員1件、法
人会員2件）の退会を承認しました。

（2）第25回大会報告（決算）

・手嶋理事・第25回大会実行委員長より、資料に基
づき第25回大会の決算の詳細が説明され、協議を行
った結果、決算は承認されました。また、運営につ
いて、吉本会長より、謝意が述べられました。

（3）第26回大会開催計画

・亀野理事より、大会要項やテーマ、設定主旨など、
資料に基づき第26回大会の開催計画が説明され、
協議を行った結果、第26回大会開催計画は承認さ
れ、今後、これに基づき準備を進めていくことが確
認されました。

（4）2025-26年度新理事及び新会長選出スケジ
ュール（案）

・山口事務局長より、資料に基づき2025-26年度の

選挙管理委員会の組織について、委員長を椿明美会員、委員を伊藤一統会員・古田克利会員に委嘱することについての協議の依頼があり、協議の結果、承認されました。その後、2025-26年度新理事及び新会長選出スケジュール(案)についての説明があり、これをたたき台として、選挙管理委員会で検討を進めることが確認されました。

2024 年度 第 4 回理事会

(2025 年 2 月 23 日 *目白大学 8 号館 8301
教室 ハイブリッド)

入退会の審査に加え、第 26 回大会の開催計画と 2025-26 年度の新理事及び新会長選出スケジュールの協議を行いました。併せて、前回理事会の議事録の確認、各委員会・各支部・事務局からの報告がなされました。協議の概要は次のとおりです。

(1) 入退会の審査

・岩井事務局次長より、資料に基づき説明があり、3 件（個人会員）の入会と 2 件（個人会員 2 件）の退会を承認しました。

(2) 第 26 回大会開催計画

・高橋大会委員長より、資料に基づき第 26 回大会の開催計画が説明され、審議の結果、承認されました。

(3) 2025-26 年度新理事及び新会長選出スケジュール（案）

・椿選挙管理委員会委員長・常任理事より、資料に基づき 2025-26 年度 新理事及び新会長選挙の実施に関する説明がなされ、審議の結果、承認されました。

（事務局長 山口圭介・玉川大学）

年報編集委員会報告

『インターンシップ研究年報』第 28 号を編集しております。本号への投稿は 2025 年 1 月 20 日に締め切られ、研究論文には 3 本、資料等には 4 本、計 7 本の投稿がありました。今号から関係規程において、投稿区分における「研究論文」と「資料等」の違いを明示しましたが、それぞれの投稿において適切な区分選択がおこなわれていました。現在、2025 年 10 月末の発行に向けて、委員以外の会員諸氏のお力も戴きながら、査読ならびに内容確認を進めております。

次号（『インターンシップ研究年報』第 29 号）への投稿は、2026 年 1 月中旬を締め切とする予定です。「編集

規程」ならびに第 29 号に適用される「研究論文・資料等投稿規程」につきましては、2024 年度総会（2025 年 9 月 13 日開催予定）後に、確定版を本学会ウェブサイトならびに第 28 号末にて公開予定です。第 29 号への投稿をお考えのみなさまは、投稿前にこれらを必ず確認し、締切、書式、適切な区分選択、そして前号（ニュースレター 2024 年度 NO.1）にてお知らせしておりました研究倫理を含め、規程にしたがって原稿の準備をお願いします。規程にしたがっていない投稿を受け付けることはできませんので、どうぞご注意ください。

なお、次号からは新しい体制にて編集を進めます。引き続き、会員のみなさまからの意欲的な投稿を、心よりお待ちしております。

（年報編集委員会委員長 稲永由紀・筑波大学）

広報委員会報告

学会 Web サイトのリニューアルについて

広報委員会では、ニュースレターやメルマガ配信などの通常の広報委員会業務に加えて、会員の皆様だけでなく、広く学会の活動を周知できる Web サイトを目指し、学会 Web サイトの大幅なリニューアルを行いました。

ニュースレターの発行、学会 Web サイト・メールマガジンの配信について

広報委員会では、年 2 回（春、秋）にニュースレターを発行し、会員の皆様に学会活動の情報をお届けしています。また、学会 Web サイトやメールマガジン配信について、広報委員会では本学会に寄せられた研究会やセミナー開催案内および教員公募等、会員の皆さまにとって有益な情報を学会 Web サイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。本学会に関連する情報がございましたら、広報委員会までメールでご連絡ください（jsi.prc@gmail.com）。なお、最終的な掲載可否は広報委員会でご検討させていただきますのでご了承ください。

会員情報更新・アドレス連絡について

ご異動等で会員情報に変更された場合（メールアドレスや所属など）には、学会 Web サイトトップページの「会員情報照会・更新」アイコンから各自で情報更新をお願いいたします。大切なご案内等が届かないことにもなりますので、お早目の更新をお願いいたします。

（広報委員会委員長 上岡史郎・
目白大学短期大学部）

学会表彰委員会報告

2025年度(第19回)高良記念研究助成募集について

本学会では、2007年度からインターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進に向けて「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行っております。2024年度(第18回)は、安藤泰会員(特定非営利活動法人ブランディングポート)「長期実践型インターンシッププログラムにおける経験学習と内省支援の有効性について」、岡靖子会員(琉球大学)「大学生のキャリア選択におけるインターンシップの効果」、川端千鶴 会員(北海道大学)「学士課程での国際インターンシップにおける大学教育と職業の接続に関する研究—卒業生のキャリア意識とダイバーシティへの理解に着目して—」の3件が採択されました。

2025年度(第19回)の研究助成につきましては、現在申請を募集中です。若手研究者、大学院生(年齢不問)、実務家、複数会員による共同研究の応募も歓迎いたします。学会 Web サイトに掲載されている募集要項をご確認の上、応募書類をご提出ください。多数の応募申請をお待ち申し上げております。

●応募締切:2025年6月20日(金)23:59

第6回槇本記念賞について

槇本記念賞は、初代関西支部長を務められた槇本淳子氏(元・大阪経済大学教授)からのご寄付をもとに創設されたもので、インターンシップの発展と高度化を願い、「秀逸なインターンシップ」事例の収集を目的として、2年に1回の表彰を行っております。第6回槇本記念賞は、9月に開催予定の第25回大会にて表彰式を実施する予定となっております。選考対象は、大学・短大、高専、専門・専修学校、中学校・高等学校等の取り組みで、2023年7月から2025年6月末までの2年間に各支部研究会ないし学会大会で発表された事例の中から、各支部より推薦をいただく予定です。今回はエントリー方法や選考基準がこれまでと異なっております。スケジュールや評価項目などの詳細につきましては、学会 Web サイトに掲載されておりますのでご確認ください、エントリーをお願いします。

●応募締切:6月30日(月)23:59

(学会表彰委員会委員長 眞鍋和博・
北九州市立大学)

企画研究委員会報告

企画研究委員会では、「インターンシップ専門人材の

養成」をテーマに研究活動を続けています。これまでの成果を「インターンシップ専門人材の現状と課題—企画研究委員会中間取りまとめ—」として、年報第27号に資料掲載しました。どうぞお目通しください。

専門人材としての知識・思考・技能をどのように高めていけばよいのか。国内外の養成プログラムを研究するなかで、学会活動そのものが専門人材の養成に貢献できるとの結論に至りました。インターンシップの実践を俯瞰し、言葉にして、客観的にとりまとめる。それによって問題・課題を明らかにする。これらは学会が提供する“場”、つまり、論文投稿、大会・研究会での発表、学会表彰への応募などへ参加することにより可能です。一方で、学会活動には参加のハードルが高いことも会員アンケート調査から垣間見えたところです。

企画研究委員会主催「学会活動促進セミナー」を12月と1月の2回開催しました。オンラインで、平日の19時から約1時間。日本インターンシップ学会がほこる研究年報・学会発表・学会表彰の3つの場について、趣旨ならびに参加方法を説明するとともに、年報第27号掲載者に体験談をお話いただきました。いつ、何を、どのように準備をしていけばいいのかをご理解いただき、参加促進につながることを期待したものです。大会実行委員会・学会表彰委員会・年報編集委員会からの説明資料を、学会ホームページ・新着情報に掲載しています(2025/01/20「日本インターンシップ学会 企画研究委員会「学会活動促進セミナー」を開催しました」)。2025年1月現在の情報であることにご留意いただき、ご覧ください。自らの専門人材力を高めるために、活用いただけますと幸いです。

(企画研究委員会委員長 平尾元彦・山口大学)

選挙管理委員会からのお知らせ

2025年2月23日に開催されました第4回理事会において、2025-2026年度を任期とする理事選挙について、以下のとおり、選挙管理委員会を設置し、委員長、委員を決定・承認されました。なお、理事選挙は、告知を郵送にて、投票はOnlineにて実施します。

以下のスケジュールで進めて参りますので、会員の皆様には投票をお忘れなきようお願いいたします。

<選挙管理委員会>

*委員長:椿明美会員、委員:伊藤一統会員、委員:古田克利会員

<選挙スケジュール>

・6月初旬 会員へ告知、投票に関する資料を郵便にて

発送

- ・6月6日12:00、理事選挙の投票開始(Online)
- ・6月19日12:00、理事選挙の投票締切、開票
- ・6月下旬:新理事候補15名の確定
- ・7月上旬:会長選挙、開票
- ・7月下旬:会長就任依頼、承認
- ・8月:理事会にて新会長、新理事候補選出の最終報告
(選挙管理委員長 椿明美・札幌国際大学)

支部活動報告

【北海道支部】

2024年度 第1回支部研究会

2025年3月9日(日)13時から「様々なインターンシップの事例紹介」をテーマに、札幌国際大学サテライトキャンパスを会場に開催し、15名の方に参加いただきました。当日は、最初に「高校生のインターンシップ・職場体験 ～北海道高校訪問報告～」として、大高栞里氏(前株式会社Tomoni Solutions 事業本部長代理)に高校生のインターンシップの現状について事例報告いただきました。また、ゲストとして星槎国際高等学校札幌北学習センター長の大倉はづき氏にもご登壇いただき、現場の取り組みについても報告いただきました。続いて、「大工さん育成ガイドブックとインターンシップによる育成」として、首藤一弘氏(一般社団法人北海道ビルダーズ協会副代表理事、大工育成委員会委員長、株式会社丸三ホクシン建設 代表取締役)に協会での取り組みを報告いただきました。若者が少ない現場においての後継者育成でのご苦労や工夫についてお話を伺うことができました。

さらに後半は「実践事例報告会」として、参加者の普段のインターンシップや若者育成の取り組みを報告し情報を共有しました。そして、研究会後には久しぶりに懇親会を開催し、交流を深める機会となりました。

2024年度 第2回支部研究会

第2回研究会は、「大学間で連携したインターンシップ・課題解決の仕組み作り」をテーマに6月8日(日)13時から、札幌国際大学サテライトキャンパスで開催いたします。

本研究会ではConCom運営委員会代表理事の田畑智章氏を講師にお迎えし、「ConComという組織作りと運営」についてのお話を伺い、大学間で連携したインターンシップや課題解決の仕組み作りを議論していく予定です。また、当日は講演に続き実践報告・研究報告も予定しております。参加希望の方は、以下の参加申込サ

イトより申し込みをお願いします。

参加申込サイト:

<https://forms.gle/Jsz88Sz1C6SoDjCAA>

(北海道支部支部長 高橋秀幸・
北海道武蔵女子短期大学)

【東日本支部】

2024年度 第2回支部研究会

第2回支部研究会は、4月30日(水)にオンライン形式(zoom)で開催し、全国から16名参加をいただきました。東北地区の中間支援組織として活躍されている一般社団法人ワカソク代表理事の渡辺一馬会員をお招きし、「学生と東北をつなぐ地域コーディネーターの活躍」をテーマに事例報告が行われました。発表後の質疑応答では、受入先との調整や参加学生のフォロー等について、活発な意見交換がなされました。今回の事例報告は、地方圏における共通した課題に対し、地域の産学官連携の好事例であり、示唆に富む研究会となりました。

2024年度 第3回支部研究会および支部総会について

第3回支部研究会は、6月14日(土)に東海地区(岐阜)での開催を予定しています。併せて、支部研究会終了後に支部総会を開催する予定です。今後詳細が決まり次第、支部会員の皆様にご案内をさせていただきます。

(東日本支部支部長 松坂暢浩・山形大学)

【関西支部】

関西支部第19回研究会を開催しました

関西支部は、2024年12月14日(金)にキャンパスポート大阪で支部研究会を開催しました(共催者:大学コンソーシアム大阪のご協力を得て、対面とオンラインのハイブリッド形式)。テーマは「強みを活かしたインターンシップの取り組み」です。

最初に、大学コンソーシアムひょうご神戸の国際交流・キャリアチーム課員の市川夏月氏が「大学コンソーシアムの強みを活かしたインターンシップ ～留学生特化型・地域密着型・キャリア教育型～」を報告されました。2006年に設立された大学コンソーシアムひょうご神戸(29大学・6短期大学・1高等専門学校が加盟、学生数約10万人)は、キャリア事業として、留学生に特化した「ひょうご留学生インターンシップ」(16年間で91社と20大学からの留学生676人が参加)を実施している

ほか、尼崎市内の企業と協力して職場体験を行う「仕事&キャリア発見@あまがさき」、兵庫県内の国際協力機関4団体で日本人と留学生のペアが職場体験を行う「リレーインターンシップ」など、地域に根差した大学コンソーシアムひょうご神戸ならではのユニークなお取組をされています。

次に、京都先端科学大学の三保紀裕会員が「京都先端科学大学のインターンシップ～三省合意への対応を踏まえ～」を報告されました。同大学は、大学の方針としてインターンシップに注力しており、全学共通型（海外インターンシップと国内インターンシップの2類型）と学部特化型（たとえば経済経営学部では長期インターンシップを実施）を提供しています。コロナ禍の時期も含めて、近年、年間200人を超える学生を送り出しています。また、2022年に改正された三省合意を踏まえつつ、参加学生への事前教育などにも一段と力を入れています。

報告後の交流会では、Zoom参加者も含めて、有意義な意見交換が行われました。

（関西支部長 安孫子勇一・近畿大学）

【九州支部】

九州支部 第33回研究会

2024年12月2日(月) 18:30～20:30に『高校生を対象とした職業統合的学習(WIL)』をテーマとして研究会を開催しました。

1件目の報告は産学連携による探究学習の実践事例として「地元企業の課題解決に高校生が挑む共創活動【locus】の取組み」と題して、株式会社マイナビ 福岡支社副社長の土山勇氏にご報告いただきました。地域企業と高校生を結びつけ、地元への理解を深めることを目的に実施しているこのプログラムの背景や実施方法、課題や効果などについて説明がなされました。

次に、2件の報告は高等学校の実践事例として「博多工業高等学校におけるインターンシップ25年の取組み」と題して福岡市立博多工業高等学校の岡本信弘会員にご報告いただきました。インターンシップ導入の背景、実施方法の変遷、課題とその解決策、生徒や企業からの反応などについて紹介されました。

その後のパネルディスカッションでは、吉本圭一会員（日本インターンシップ学会会長）がディスカサントを務め、学習指導要領における位置づけや企業との連携深化の重要性について指摘がされました。

九州支部 第34回研究会

テーマを『スタートアップ支援研究会(4)－実践研究の探究と質的研究セミナー』として、2025年2月22

日(土) 11:30～14:00に研究会を開催しました。会場は久留米大学福岡サテライトキャンパスとオンライン(Zoom)の併用としました。

はじめに、新村拓也会員（宮崎公立大学・特任准教授）から「インターンシップにおける社会人基礎力自己評価の低下現象とその背景要因」と題し、宮崎公立大学でのインターンシップ科目の事例研究がなされました。インターンシップ後に一部の学生の社会人基礎力の自己評価が低下した現象について、量的・質的データの活用により具体的な要因を明らかにしようと研究を進めている段階であることが発表されました。

後半の基調講演では、吉本圭一会員から「質的研究セミナー(入門編)」と題し、量的調査と質的調査の違いやインタビュー調査を軸とした質的研究法の手順や分析方法、倫理的配慮等について、事例を交えながら詳しく説明がなされました。

双方の研究会ともに多くの参加者にお越しいただき、活発な意見交換が行われました。九州支部では、これから研究をスタートする方のサポート、インターンシップ事例共有、インターンシップの研究の深化など様々なテーマを取り上げ、年間2～3回の研究会を実施しています。詳細は学会Webサイトをご覧ください。

（九州支部支部長 眞鍋和博・北九州市立大学）

事務局からのお知らせ

2025年度会費納入のお願い

2025年度の会費納入につきまして、会員の皆さまに案内を送付させていただいております。オンラインでの決済も可能ですので、ぜひご活用ください（学会ホームページの「会員情報照会・更新にログイン後「オンラインクレジット決済システム」または「年会費のクレジット決済」へお進みください）。

【振込先】

・郵便口座 02750-1-108419

口座名義（「加入者名」の欄）日本インターンシップ学会

・ゆうちょ銀行

店番：279（当座）

口座番号108419

口座名義：日本インターンシップ学会

*恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

なお、2024年度（2024年7月から2025年6月）分の会費につきましても、納入をお願いいたします。『研

究年報』投稿、役員選挙、大会での発表には会費の納入が条件となっておりますので、入金がまだの方は速やかに納入いただきますようお願いいたします。

(事務局長 山口圭介・玉川大学)

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2024 No.2

発行日:2025(令和7)年5月31日

発行:日本インターンシップ学会 会長 吉本圭一

編集:日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 上岡史郎

事務局:日本インターンシップ学会事務局 事務局長 山口圭介

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401

(株)ガリレオ学会業務情報化センター内

日本インターンシップ学会 会員管理事務局

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

e-mail: g035jsi-support@ml.gakkai.ne.jp